



平成22年2月19日

各位

会社名 株式会社DTS
代表者名 代表取締役社長 赤羽根 靖隆
(コード番号 9682 東証第1部)
— 問合せ先 —
常務取締役 栗原 広史
(TEL. 03 - 3437 - 7522)

平成22年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成21年10月21日に公表いたしました平成22年3月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績予想の修正

平成22年3月期通期業績予想数値の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

(連結)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成21年10月21日発表)	51,800	1,500	1,670	470
今回修正予想(B)	52,000	860	1,060	100
増減額(B-A)	200	△640	△610	△370
増減率(%)	0.4%	△42.7%	△36.5%	△78.7%
前期(平成21年3月期)実績	59,995	3,482	3,587	1,513

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 4円23銭

(単独)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成21年10月21日発表)	34,000	1,250	1,440	870
今回修正予想(B)	34,000	730	980	580
増減額(B-A)	0	△520	△460	△290
増減率(%)	0.0%	△41.6%	△31.9%	△33.3%
前期(平成21年3月期)実績	38,339	2,728	2,987	1,563

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 24円51銭

2. 修正理由

当社グループでは、景気の悪化とともに大きく変化する事業環境に対応するため、営業の強化、人的リソースの再配置、生産性の向上など、収益性の向上に努めて参りました。しかしながら、企業の情報化投資は低迷を続けており、厳しい経営環境が続いております。売上高では、連結において一部子会社の受注が回復しており若干の増加を見込んでおります。単独においては、システムエンジニアリングサービスにおける金融業の受注は好調に推移しているものの、サービス業、通信業など新規の受注は軟調に推移することが想定されており、前回予想通りと見込んでおります。営業利益、経常利益および当期純利益では、システムエンジニアリングサービスにおけるサービス業や通信業向けの新規受注の低迷により稼働率は低下しており、前回予想利益には至らないと見込んでおります。この結果、平成 21 年 10 月 21 日に公表しました平成 22 年 3 月期通期の業績予想を連結、単独とも修正いたします。

3. 配当予想について

平成 21 年 5 月 14 日の決算発表時に公表の配当予想、期末配当金 1 株あたり 20 円（第 2 四半期末 15 円と合わせ、年間配当金 35 円）につきましては、修正はありません。

(注)上記の予想は、現在入手可能な情報に基づき作成しており、リスクや不確定な要因が含まれております。したがって、実際の業績は、様々な要因により予想とは異なる結果となり得ることがありますのでご了承願います。

以上